

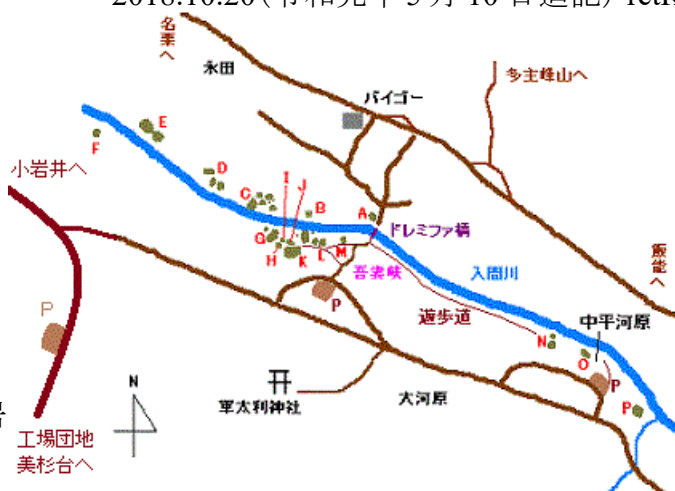
飯能 吾妻峡ボルダー その2

2018.10.20(令和元年5月10日追記) rctK

10月初め、東京に一時帰京した際、数週間もクライミングをしていなかったため、雨の後だったが、ちょっと名栗方面に出かける。しかし、目的のボルダーに行ってみると、台風による沢筋の大荒れでトライできず、仕方なく以前雨の後でも大丈夫だった飯能の吾妻峡を覗いてみる。

行ってみると、ドレミファ橋も渡れないほどの増水中で、各ボルダーは取り付きが大分荒れてはいたが、運よく、未解決の課題があるL岩がトライできる状態であった。今回、短時間のトライであったが、2本程新しい課題が追加できたので、簡単に紹介したい。

アクセスについては車利用が良い。ドレミファ橋と中平河原(なかだいらがわら)の降り口には有料駐車場がある。P岩は中平河原の駐車場が近く、それ以外はドレミファ橋の駐車場が近い。また、少し歩いても良いのなら、少し小岩井方面に行ったところの交差点から工場団地方面に登っていく途中に、広い駐車場がある。



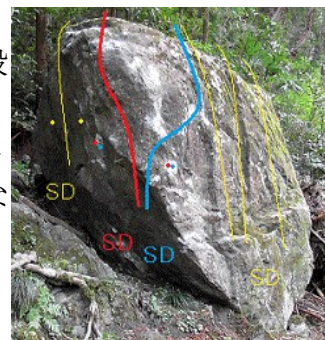
●L岩(山側の岩)

山側の岩の下流側にある被ったカンテの左右に、新たな課題を2本設定した。2本とも短いがそこそこ楽しめる。

赤ライン(課題名:イケガ MeToo)は、左手は左のフェイスのカチ、右手はカンテ右のピンチ気味のホールドでスタート。足を右にヒールフックしながら、カンテ直ぐ左を登る。

青ライン(課題名:MeToo)は、赤ラインと同じスタートで、カンテを右に回り込みガバ手前のカチホールドを取り、左手をカンテよりに移動してからガバを取る。リーチが長いと、一手目でこのガバが取れるので易くなる。

黄色の細ラインは以前登った課題である。川側のフェイスは苔が発達してきている。山側のフェイスは実質1手の課題。



(令和元年5月10日追記)

Iさん(Mさん?)という方から、L岩でホールド剥離(写真右)があったとの連絡をいただきました。写真を見ると、「MeToo」の右に回り込んだ所のホールドが大きく剥がれたようです。グレードに変化があったと思われますが、易くなったのか難しくなったのかは分かりません。

